

教育振興基本計画・教育大綱（素案）への意見公募等の結果について

1. 意見公募等（市民参画）の趣旨

教育振興基本計画（案）の策定に当たり、こどもが自分から積極的に教育施策に参加する機会をつくること、こどもの意見を取り入れることで、熊本市の教育施策をより良くしていくことを目的として、こどもに対する意見公募（アンケート及び意見交換会）を実施した。

併せて、市民と行政のよりよい信頼関係のもと、市民参画・協働の取り組みを通じて、市民の皆さんの満足度の高いまちづくりを進めていくこと目的として、パブリックコメントを実施した。

2. 意見公募等（市民参画）の種類

種類	対象者	期間
児童生徒アンケート 【小中学生編】	市立小・中・特別支援学校の児童生徒 （小学校5・6年生、中学校1～3年生） 回答数：15,846名（47.9%）	R5(2023).12.21- R6(2024).1.17
生徒アンケート 【高校生編】	市立高等学校の生徒（高校1～3年生） 回答数：1,221名（76.3%）	R5(2023).12.21- R6(2024).1.12
意見交換会 【小中学生編】	城東小・藤園中・京陵中 児童生徒 計13名	R6(2024).1.18
意見交換会 【高校生編】	必由館高校・千原台高校 生徒 計7名	R6(2024).1.12
パブリックコメント	熊本市民 回答数：6人・18件	R5(2023).12.20- R6(2024).1.19

3. 各意見公募等（市民参画）に係る意見の反映方法

- ・教育振興基本計画（素案）に反映する（基本方針、施策の方向性等）。
- ・教育振興基本計画の下の実施計画にも反映を行う（事業概要等）。
- ・担当課及び関係課へ共有し、各事業の実施において反映を行っていく。



意見交換会の様子



4. 意見公募等（市民参画）の結果（主な意見）

●基本方針（１）～（７）ごとの「施策の方向性」に、こどもが「一番大事」だと思うと回答した項目

児童生徒アンケート【小中学生編】【高校生編】 ※詳細は、別添アンケート結果参照

基本方針 (カッコ内は「やさしい版」文章)	一番大事な項目として選ばれた施策の方向性 (カッコ内は「やさしい版」文章)	反映 No
(１) 主体的に考え行動する力を育む教育の推進 (自分で考えて、自分で決めて、自分で行動する力を育てる取り組みを進めます)	【小中高同じ】 小中 34.9%、高 39.1% ②豊かな心と健やかな体を育む教育の推進 (心が豊かで、健やかに育つ教育を進めます)	1
(２) こども一人ひとりを尊重した教育の推進 (一人ひとりを尊重しながら、困っていることを手助けする教育を進めます)	【小中高同じ】 小中 39.8%、高 45.4% ①個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 (一人ひとりに合った学び方で、もっと楽しく学べるようにします)	－
(３) 最適な教育環境の整備 (学校が、みなさんにとって行くのが楽しく安心して学べる場所になるようにします)	【小中学生】 31.9% 《高校 21.5%・３番目》 ④安全・安心な学校づくりの推進（学校がもっと安全で、安心して学べる場所にしていきます） 【高校生】 31.3% 《小中学校 23.2%・３番目》 ②学校におけるマネジメント体制の強化（学校がもっと良く活動していけるように計画を立てて進めていきます）	2
(４) こどものいのちと権利の擁護 (こどものいのちと、こどもの権利を守ります)	【小中高同じ】 小中 52.6%、高 45.4% ①こどもの最善の利益を守る環境づくり（こどもが、幸せに、楽しく過ごせる環境をつくれます）	－
(５) 生涯にわたる学びの提供と学びの成果をいかす機会の創造 (ずっと学び続けるための場所や時間などを用意して、その学びをいかす機会をつくれます)	【小中高同じ】 小中 35.7%、高 41.0% ①学びと活動の循環による環境の整備（新しいことを学んで活動にいかす、学びをくり返す仕組みをつくれます）	－
(６) 市民が身近に親しめる文化芸術の振興 (生活のすぐそばで、文化芸術に触れることができるようにします)	【小中高同じ】 小中 45.8%、高 64.0% ①文化芸術活動の推進（文化芸術をもっと楽しめるような活動を進めます）	－
(７) ライフステージに応じた生涯スポーツの推進 (それぞれの年齢や生活に合わせて、スポーツを楽しめるような取り組みを進めます)	【小中高同じ】 小中 46.1%、高 54.9% ①スポーツ機会の充実（もっとたくさんの人がスポーツを楽しめる機会を増やします）	－

●主な意見【意見交換会、アンケート、パブリックコメント】

基本方針（１）

施策の 方向性	意見の概要	反映 No	意見区分
新① 豊かな心と 健やかな体 を育む教育 の推進	部活動で先輩や後輩、先生、保護者の方と関わって礼儀や礼節を学んでいるが、部活に入っていない生徒は経験が少なくなるため、授業等で取り入れた方がよいのではないか（高校生）	－	意見交換会
	学力も大事だが、人間性も大事であり、人を大切にしない人がいると学びたいと思う人が減ると思うので「心が豊かで、健やかに育つ教育を進めます」（事業概要２）を１番目がいい（小６）	－	意見交換会
	学校は勉学に励む場所であり、説明にある「一人ひとりの理解に合わせて教える」ことで勉強したくなると思えるので、「「学びたい」と思える力を育てる教育を進めます」（事業概要１）を１番のまががいい（中２）	－	意見交換会
	学年が上がると運動をする人が減る傾向にあるので、高学年でも楽しく遊べる遊具の設置や運動強化月間のようなイベントがあればやろうという気になるのではないかと（中２）	－	意見交換会
	・道徳の授業は回数を増やすべきだと感じる（高校生） ・道徳の授業が少ないので、学活の時間でやることがない時に学習するとよいと思う（中２） ・自分や他人の権利を理解していくことが重要だが、人権学習が少ないと思う。人権について理解が浅い人もいる（中２） ・ハンセン病について学習した際には、熊本であったことで身近に感じられ、後から自分でも調べてみる人もいたので、身近な例で学習すると理解が進み、頭にも残る（中２）	3	意見交換会
	・小中学校とは違った、年齢にあった道徳の授業を受けたい（高校生） ・人権についての授業を増やす（高校生） ・命の勉強が足りていない（小５）		アンケート
	・性に対する多様性について、その他様々な人の個性という違いによって生じるいじめや差別をなくしてほしい（中３） ・もっと LGBTQ +を受け入れる人が増えてほしい（小５） ・そもそも LGBT や障害がある人を別として見るのはおかしい。LGBT は特に近年増えていて、クラスに数人いてもおかしくないのに、性別に違和感があるだけで別で考えられるのは差別ではないか（小５）	4	アンケート
新② 自ら学びに 向かう力を 育む教育の 推進	・無記名で授業の評価アンケートをとり先生に結果を示して改善してもらうシステムについて聞いたが、やった方がいいと思う（高校生） ・先生を選べるようにしてもらうと選択肢を持てる生徒が増え、先生の評価が分かりやすいが、先生の数足りないかもしれない（高校生）	－	意見交換会
	・受講する先生を選べるようにしてほしい（高校生） ・「いい先生」と「あまり先生に向いていなさそうな先生」との差が大きい（中２） ・学校の方針以前に教師の質の低下、及びやる気のなさが我々生徒からみても表面に浮き出ている（中３） ほか	－	アンケート

基本方針（１）

（つづき）

施策の 方向性	意見の概要	反映 No	意見区分
新② 自ら学びに向 かう力を育む 教育の推進	・ 図書の時間を増やし、本に触れる機会を大切にしたい。（小６） ・ いろいろなことを知識として学ぶために、もっと学校の図書室に予算をおろして欲しい（中２） ・ 本を読む時間を増やすことが必要（中３） ほか	5	アンケート
新③ 社会の形成 や持続的発 展に主体的 に貢献する 力を育む 教育の推進	総合の時間に、農業や接客業等の自分たちは直接関わってはいないが、生活するうえで絶対に必要な仕事の体験をすることで、日頃の感謝や豊かな心につながるため、授業に取り入れてほしい（中２） ・ 学校の校則に不満がある生徒の意見はしっかりと反映されているのか（高校生） ・ 校則について意見を伝えやすい環境を整えてほしい（中２） ・ 学校の校則について、みんなで考えるような取り組みを増やして欲しい（中１） ・ 学校に必要なだけでなく、校則でダメだと言うのではなく生徒の考えを取り入れて校則を立ててほしい（小５） ほか	— 6 ・ 7	意見交換会 アンケート
④ 遊びを通して 創造的な思考 や主体的に 行動する力を 育む幼児教育 の推進	施策の基本方針に幼児教育の内容が検討されていることに大変うれしい気持ちになった。幼児教育に携わり、教育の原点がここにあり、この場での学びが今後の生活や学習の基盤を培う役割があると強く感じている。保護者、教職員の中には教育は小学校から始まるという意識の方もいると思うが、基本方針に取り入れられることで、全市あげて幼児期から学び・教育が始まり、学びの質が今後の人生に大きな影響をおよぼすことを認識できるのではないかなと思う。	—	パブリック コメント

基本方針（２）

施策の 方向性	意見の概要	反映 No	意見区分
① 個別最適な 学びと協働 的な学びの 一体的な 充実	校外に出て色々な方と関わっていくことで授業では学べないことを学ぶことができるため、校外学習は重要だと思う（高校生） ・ １回の授業で分かる生徒と分からない生徒がいるので、授業の様子を動画で見直せるようにすると全員が分かるようになると思う（中２） ・ 勉強が得意な人と不得意な人が半分ずつのグループに分けて別々に学習したり、授業の時間の多くを生徒交流とするなど、こども同士で教え合えるといいのではないかな（中１） ・ 現在は席の間隔が広く話しかけづらい面があるため、席を近づけることで教え合いや交流が深くなると思う（中２） ・ 教え合いの時間が放課後にもあるといいと思う（中２） ・ 中学生が小学生に勉強を教える機会があれば、地域全体、学校全体がつながって学びが繰り返されると思う（中２） たくさんの人と勉強をするのが苦手な人もいると思うのでそういう人のために先生と２人ですれば安心して学校に行けると思う（小５） 春、夏、秋、冬にできることをやり、絆を深めていく活動する（小５）	— — — —	意見交換会 意見交換会 アンケート アンケート

基本方針（２）

（つづき）

施策の 方向性	意見の概要	反映 No	意見区分
② 特別支援教育をはじめとする多様な教育的ニーズに対応した支援の充実	障害がある人がもっとみんなと平等に学べるために、継続的な支援、その人に寄り添うなどのことをしてほしい（小６）	－	アンケート
	・児童生徒同士の暴言を先生に相談できない人も多いので、元気がない子どもに先生から話しかけてほしい（小５） ・小学生の時期は言葉の意味を理解せずに暴言を言うことがあるため、意味を理解させ、言うことがカッコ悪いということを伝えると暴言が減ると思う（中２）	－	意見交換会
	・いじめは先生が頑張っても、クラスメイト全員で考えないとなくなれないと思う（小６） ・いじめへの対処について、いじめた側といじめられた側双方からしっかりと話を聞いて解決して欲しい。いじめられた側はいやなことを思い出しながら話さないといけなため、特にいじめた方に意図等を聞くべきだと思う（中２）	－	意見交換会
	カウンセリング受けるだけでもからかわれる恐れがあり、タブレットで他に人にはわからないように相談ができるようにしてほしい（中２）	－	意見交換会
	・学校内で体罰や暴言を言う人たちを、別の教室に入れる方法でいじめがなくなるのではないかと（中３） ・いじめやいじりのない学校にしてほしい（中１） ・軽い差別や暴言でもかわいそうだから必ず注意をするようにしてほしい（小６） ・いじめや嫌がらせをさせられてしまうと学校に行くのが怖くなっている子の子の原因になると思う。少しでも嫌なことがあったら大切な友達や先生に相談をすることだと思う（小６） ほか	8	アンケート
③ インクルーシブ教育の推進	修学旅行で支援クラスの生徒と話していいことが分からず壁があるように感じたので、特別支援学級の生徒がもっと通常学級で学習できるようになるといいと思う（中２）	－	意見交換会
	・個性が強い子も見捨てずに付き合ってあげてほしい。能力が他の人と比べて劣っているような子に学びの機会を与えてほしい（小６） ・多様性が認められる一人一人を尊重する学校にしてほしい（小６）	－	アンケート
	特別支援教育とインクルーシブは別物だと思うが、同じ項目にかかれており、どっち付かずの印象を受ける。熊本市としてはどちらを目指しているのか知りたい（市民）	－	パブリックコメント
④ 体罰・暴言等の根絶	・体罰や暴言などが起きないように、教師の仕事環境の見直しと、意識改善をもっとしていくべき（高１） ・学校から、体罰、暴言を無くすことなど、当たり前の事の徹底をしてもらいたい（中３） ・学校の先生が、体罰がだめで、生徒に注意できないからありにしたいと思う（中２）	－	アンケート

基本方針（３）

施策の方向性	意見の概要	反映 No	意見区分
新① 安全・安心な学校づくりの推進	トイレを洋式にしてほしい、綺麗にしてほしい（複数意見）	－	アンケート
	体育館を広くしてほしい、クーラーを設置してほしい（複数意見）	－	アンケート
	怪我をした人のために、校舎にエレベーターをつけてほしい（複数意見）	－	アンケート
	静かに勉強できる自習室があると良い（複数意見）	－	アンケート
	ジェンダーレスの観点から１つの階に１か所は多目的トイレを整備して欲しい（中２）	－	意見交換会
② 学校におけるマネジメント体制の強化	先生にゆとりがあり、先生と生徒が気軽に話したり遊んだりできれば、いじめがあっても相談できるし、先生がいるだけで安心できると思う（小５）	－	意見交換会
	先生という職業は、ストレスが溜まってしまう仕事だと思うが、先生が我慢をしてしまうと先生自身が辛くなってしまったり、ストレスが溜まって他の人（生徒など）に当たるともっときつくなってしまうため、先生専門のスクールカウンセラーを入れたほうがいい（小６）	－	アンケート
	先生達の仕事が多くて、あまり生徒との関わりができていないなと感じたり、授業があまり分からないなと思う（中１）	－	アンケート
新③ 地域や家庭と連携した教育環境の整備	地域との関わりについて、地域の方々に芸術や書道などの学校で制作している物を販売することで、保護者や地域の方に知っていただくことができると思う（高校生）	－	意見交換会
	・健康について、自分が発表したいことを調べてまとめ、地域の方や保護者に発表する機会があったが、自分で調べることでより詳しくなるためそのような機会がどこでもあった方がいいと思う（小６） ・小学校では上通りのお店にインタビューをするなど地域のことを調べる機会があったため、中学校でも、ナイストライはあるものの地域のことを知る機会があるといいと思った（中２）	－	意見交換会
	・地域の人たちと関われる機会をつくるといい関係が持てる（中２） ・地域の人との交流は、定期的に学校側でやれば、伝統に保持などに繋がる（小６） ・地域みなさんと、（子ども会やボランティアの方々）学校がもっと楽しめて、より良いところにするにはどうすればいいかを話してみたい（小５） ・最近、地域の方々との交流があまりない（小６）	－	アンケート
新④ 働き方改革の推進	部活動に関し、先生が経験者になってから成績が上がったため、どの先生がどの部活を担当するかは考えていただきたい。	－	意見交換会
	部活が多いので、土日など普通の高校生活をあまり楽しめていない。部活動の時間を制限してほしい（高校生）	－	アンケート
	部活をつくってほしい、もう少し増やしてほしい（複数意見）	－	アンケート

基本方針（４）

施策の方向性	意見の概要	反映No	意見区分
① こどもの最善の利益を守る環境づくり	幸せに楽しく過ごせる環境は、睡眠がとれることだと思う。部活や課題が多く休む時間がないと感じる（高校生）	－	意見交換会
	自分の個性を認めてくれる環境があるから幸せを感じる。また、学ぶことは、結果を出すことが楽しい（高校生）	－	意見交換会
	自分のやりたいことをやっている時が幸せに楽しく過ごせる環境だと思う（高校生）	－	意見交換会
	家も学校も縛られた感じが強い。自分のやりたい事は自分がよくわかってるのに揃いも揃って否定してくる。消えろって言われてるみたい（中１）	－	アンケート
② 家庭環境に左右されない学習機会の充実	・給食を無償化したほうがいいと思う（小５） ・給食費を減額（中３）	－	アンケート
④ こどもの権利擁護に関する理解の促進	障がいがあっても笑わないでほしい。それは個性だと思ってほしい（小５）	－	アンケート

基本方針（５）

施策の方向性	意見の概要	反映No	意見区分
① 学びと活動の循環による環境の整備	漢字検定や英語検定の検定料が高いため、経済的なサポートがあれば興味や挑戦が増える。服飾デザインコースでは布にもお金がかかるため少しでも補助があるとよい（高校生）	－	意見交換会
新② 青少年の健全育成	放課後の過ごし方で、学童クラブのように狭い部屋で過ごすだけではなく、運動クラブや文化的な活動等、習い事とは別に、誰でも望む子供は無償でいろんな活動にいそしむことができるような仕組みをつくってほしい。他自治体で導入されているところがある（市民）	－	パブリックコメント
新③ 生涯学習関連施設の機能充実	・図書館の人が多すぎて勉強するスペースがなかったため、図書館にもっと学習スペースを設けてほしい（高校生） ・地域の図書館や学校の図書室など、教室や家以外での勉強の場の選択肢を増やすと、学びに関心を持つなどもっと学ぼうとする人が増えると思う（中２）	－	アンケート

基本方針（６）

施策の方向性	意見の概要	反映 No	意見区分
① 文化芸術 活動の推進	伝統工芸品について、ほとんど知られていないと感じる。芸術は見に行く機会があるが、伝統工芸品は機会が少ない（高校生）	－	意見交換会
	日本では文化にお金がかけておらず、スポーツと比べるとメジャーではないと思うので、イベントや教育の場で芸術を広め、興味を持つ方が増えるとよい（高校生）	－	意見交換会
	・学校に落語家が来る機会があり、そのような機会が増えるといい（小５） ・学校行事の一環として文化に触れることはあるが個人ではあまりないため、学校で周知されると中学生の参加者も増えると思う（中２）	－	意見交換会
	地域に根付いた文化を伝える施設があると、地域の活気が出ると思う（中３）	－	アンケート
	市の美術館の専門の方が、開催されている展示のすばらしさを様々な角度から紹介し、美術や美術館の職員を身近に感じることで美術館に足を運ぶきっかけにもなり収益も上がると思う。オンラインでも可能だと思うので、本物に触れるきっかけを作ることが大事ではないか（市民）	－	パブリックコメント

基本方針（７）

施策の方向性	意見の概要	反映 No	意見区分
① スポーツ 機会の 充実	高齢者と高校生と一緒にスポーツを楽しむ機会があれば、お互いの理解も進むと思う（高校生）	－	意見交換会
	地域から参加できるスポーツイベントがあるといい（高校生）	－	意見交換会
	小学校では地域の方と夜にバドミントンをする機会があったが、そのような地域とふれあえる機会がもっとあるといいと思う（中１）	－	意見交換会
	プロスポーツ選手を実際に呼んだりマイナースポーツをやることによって小さい子供はこうなりたいなというのが決まるかもしれないしご老人の方は勇気をもらえと思う（小６）	－	アンケート
新② スポーツ施設 の整備・機 能充実	スポーツをできる場所の整備（中３）、運動ができる場所が少なくなっている（中３）、スポーツができる施設を増やしてほしい（小６）	－	アンケート

その他

意見の概要	意見区分
文字を書く機会が減り、漢字を書く力が下がっている気がする（高校生）	意見交換会
体育座りは長時間になると体が痛くなり、体に良くないという話も聞くので、座り方を自由にしたり、集会を ZOOM で行うなどの対応をして欲しい（中２）	意見交換会
公園でボールを使えるようにしてほしい（複数意見）、いろんな人が遊べる公園などを増やす（中３）、公園(遊具多め)を増やしてほしい（小６）	アンケート

5. 意見の反映について

No	区分	反映箇所	反映内容
1	施策の方向性	(1) ①→② (1) ②→①	施策の方向性①を②へ (②を①へ) 児童生徒アンケートにて、小中学生、高校生共に一番大事な項目として選ばれた方向性②を①へ変更。 【変更後】 ①豊かな心と健やかな体を育む教育の推進 ②自ら学びに向かう力を育む教育の推進
2	施策の方向性	(3) ④→① (3) ③→② (3) ②→③ (3) ①→④	施策の方向性④を①へ (①を④へ ほか) ・ アンケート（小中学生編）にて、一番大事な項目として選ばれた方向性④を①へ変更（31.9%） ・ ③は「学校改革！教職員の時間創造プログラム」を策定し、教育委員会として重点的に取組を実施しているため、現計画と同じ②に再度位置付ける。 ・ ②は、「働き方改革の推進」と一体的に進めるものであるため、「働き方改革の推進」の次（③）に位置付ける。 ・ 上記の並び替えに伴い①を④へ変更。 【変更後】 ①安全・安心な学校づくりの推進 ②働き方改革の推進 ③学校におけるマネジメント体制の強化 ④地域や家庭と連携した教育環境の整備
3	事業概要	(1) 新① 2	意見に基づく修正 【変更後】 事業概要 2 人権やいのちに関する理解を深め、豊かな人間性や人権感覚を育て、自分や他の人を大切にし、それが具体的な態度や行動に現れるような人権教育を充実させます。
4	事業概要	(1) 新① 3	意見に基づく再検討による修正（「マイノリティ」の理解というより、自分自身を含む「性の多様性」について学ぶという趣旨の表現に変更） 【変更後】 事業概要 3 学校における性に関する指導を充実させ、科学的知見に基づく正しい理解や性的マイノリティへの多様性の理解促進による人権意識の醸成を図るなど、いのちを大切にする教育を推進します。
5	事業概要	(1) 新② 2	意見に基づく修正 【変更後】 事業概要 1 ICTをの活用七により、児童・生徒一人ひとりの学習状況に沿った支援を行いうとともに、図書の活用により、読書活動や調べ学習を充実させ、主体的に学ぶ力を育み学力の向上を図ります。

5. 意見の反映について

(つづき)

No	区分	反映箇所	反映内容
6	施策の方向性	(1) ③	意見に基づく修正 【変更後】方向性③ 社会の 形成や持続的発展の実現に主体的に 貢献する力を育む教育の推進
7	事業概要	(1) ③ 4	意見に基づく新規追加 【追加内容】事業概要 4 自分たちの決まりは、自分たちで作って、自分たちで守るという民主主義の基本を身に付けながら、自ら判断し行動できるよう、校則の見直しに取り組みます。
8	事業概要	(2) ② 3	意見に基づく修正 【変更後】事業概要 3 いじめや不登校のほか、 こどもや保護者の悩みごとの 相談に対して、教員とスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの専門家との連携を図りながら、相談体制を強化し、課題解決に取り組みます。



次期 教育振興基本計画・教育大綱（案） 及び 実施計画（案）について

教育委員会事務局 教育総務部 教育政策課

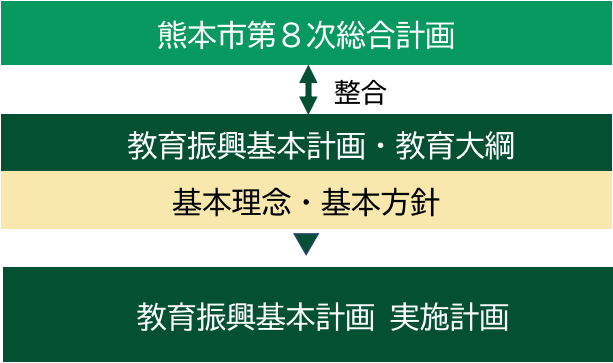
1. 計画の期間及び計画の位置づけ

1

計画期間

令和6年度（2024年度）から令和9年度（2027年度）の4年間

計画の位置づけ

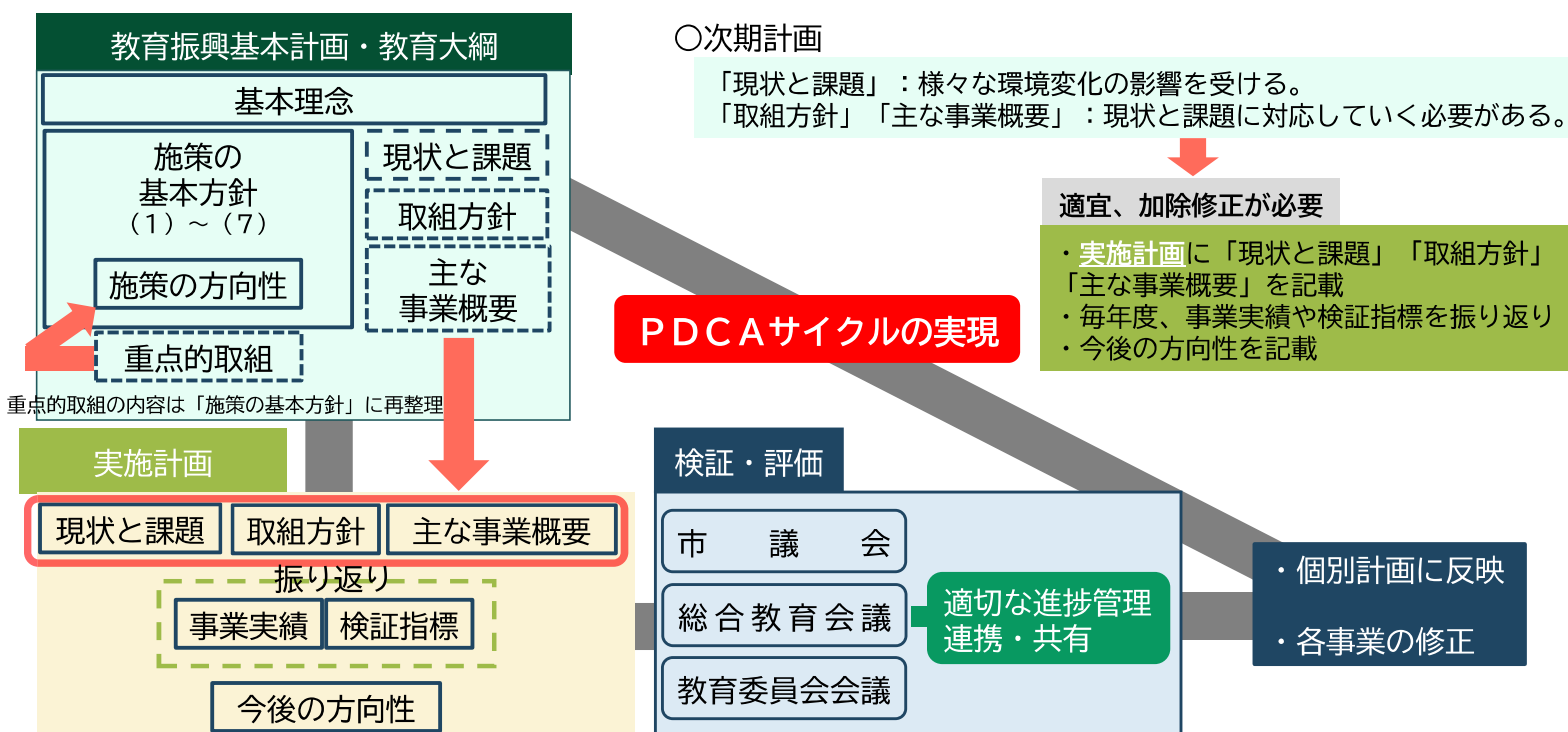


▼ 教育理念・基本方針を反映した施策群

分野別施策

- | | | |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・学校改革！教職員の時間創造プログラム・校則・生徒指導のあり方を見直しに関するガイドライン・市立高等学校・専門学校改革基本計画・熊本市立幼稚園まなび創造プログラム・いじめ防止基本方針 | <ul style="list-style-type: none">・特別支援教育推進計画・教育の情報化・地域教育情報ネットワークに関する事業・体罰・暴言等に関する相談事業・児童育成クラブ管理運営事業 | <ul style="list-style-type: none">・熊本市子ども輝き未来プラン・熊本市障がい者生活プラン・生涯学習推進計画・文化芸術振興指針 |
|---|--|--|
- など

2. 次期 教育振興基本計画・教育大綱のPDCAサイクル



基本理念 豊かな人生とよりよい社会を創造するために、自ら考え主体的に行動できる人を育む

施策の基本方針

(1)主体的に考え行動する力を育む教育の推進

- ① 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
- ② 自ら学びに向かう力を育む教育の推進
- ③ 社会の形成や持続的発展に主体的に貢献する力を育む教育の推進
- ④ 遊びを通して創造的な思考や主体的に行動する力を育む幼児教育の推進

(2)こども一人ひとりを尊重した教育の推進

- ① 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ② 特別支援教育をはじめとする多様な教育的ニーズに対応した支援の充実
- ③ インクルーシブ教育の推進
- ④ 体罰・暴言等の根絶

(3)最適な教育環境の整備

- ① 安全・安心な学校づくりの推進
- ② 働き方改革の推進
- ③ 学校におけるマネジメント体制の強化
- ④ 地域や家庭と連携した教育環境の整備

(4)こどものいのちと権利の擁護

- ① こどもの最善の利益を守る環境づくり
- ② 家庭環境に左右されない学習機会の充実
- ③ ライフステージに応じた継続的な支援の充実
- ④ こどもの権利擁護に関する理解の促進

(5)生涯にわたる学びの提供と学びの成果をいかす機会の創造

- ① 学びと活動の循環による環境の整備
- ② 生涯学習関連施設の機能充実
- ③ 青少年の健全育成

(6)市民が身近に親しめる文化芸術の振興

- ① 文化芸術活動の推進
- ② 歴史的文化遺産の調査研究、保存整備と活用

(7)ライフステージに応じた生涯スポーツの推進

- ① スポーツ機会の充実
- ② 競技力の向上
- ③ スポーツ施設の整備・機能充実

※素案から追加及び変更を行った項目については、赤字としている。

3. 次期 教育振興基本計画実施計画（案） 基本方針（1）～（7）概要

基本方針（１） 主体的に考え行動する力を育む教育の推進

施策の方向性

- ① 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
- ② 自ら学びに向かう力を育む教育の推進
- ③ 社会の形成や持続的発展に主体的に貢献する力を育む教育の推進
- ④ 遊びを通して創造的な思考や主体的に行動する力を育む幼児教育の推進

取組方針

こどもを取り巻く環境が大きく変化している中、こどもが将来の生き方や進路に夢や希望を持ち、その実現を目指して学校での生活や学びに自ら意欲的に取り組めるよう、こどもと共に魅力ある授業づくりに努めることで、豊かな人間性と健やかな体を備え、学びに向かう力を持った、主体的に考え行動できる人づくりを目指していく。

主な事業概要

- ・豊かな人間性や人権感覚を育て、自分や他の人を大切にし、それが具体的な態度や行動に現れるような人権教育の充実
- ・学校教育全体を通じてこども一人ひとりの意欲・関心を最大限尊重するとともに、主体的に社会の課題を解決することのできる力を育む取組の推進
- ・持続可能な開発のための教育の視点から、社会の担い手を育むことによる学校や地域の更なる活性化の推進
- ・遊びを通して幼児が最後までやり抜く力や協働する力、創造的な思考と主体的に行動できる力を育む教育の推進

主な検証指標

人が困っているときは、 進んで助けると答えた 児童生徒の割合		授業において、課題の解決に向け、 自分で考え、自分から取り組んだ と思う児童生徒の割合		地域や社会をよくするために 何をすべきかを考えることがある 児童生徒の割合		こども（幼児）が自分の思いを表現し、 意欲的に活動していると思う 保護者の割合	
基準値 R5	検証値 R9	基準値 R5	検証値 R9	基準値 R5	検証値 R9	基準値 R5	検証値 R9
小：90.3% 中：86.2%	小：94.0% 中：90.0%	小：76.6% 中：71.8%	小：80.0% 中：80.0%	小：72.8% 中：61.0%	小：77.0% 中：64.0%	97.3%	100%

基本方針（２） こども一人ひとりを尊重した教育の推進

施策の方向性

- ① 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ② 特別支援教育をはじめとする多様な教育的ニーズに対応した支援の充実
- ③ インクルーシブ教育の推進
- ④ 体罰・暴言等の根絶

取組方針

こども一人ひとりの教育的ニーズに合わせた指導・支援の充実を目指すとともに、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための教育を推進する。また、こどもの人権を尊重し、教員がこどもと向き合いながら、いじめや不登校の未然防止、体罰・暴言などの不適切な指導の防止に努め、早期対応を図るとともに、不登校や特別な支援を必要とするこども一人ひとりの将来の自立と社会参加に向けた学びの充実を図る。

主な事業概要

- ・指導の個別化と学習の個性化による個別最適な学びと、探究的な学習や体験活動等を通じた他者と協働する学びの一体的な充実
- ・こどもや保護者の悩みごとの相談に対して、教員と専門家との連携を図ることによる相談体制の強化と課題解決への取組
- ・共生社会の実現に向けた、障がいのあるこどもや外国にルーツを持つこどもなどが共に学ぶ教育の推進
- ・体罰・暴言等、こどもの権利侵害事案に対する再発防止と迅速・適切な事後対応策の実施

主な検証指標

※基準値の括弧書きは参考値

学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることが出来ていると思う児童生徒の割合		学校内外の機関等で専門的な相談・指導などを受けていない長期欠席児童生徒の割合		配慮を必要とする児童生徒の共に学ぶための支援方法を検討するケース会議等の実施回数		体罰等審議会における体罰・暴言等の認定件数	
基準値 R5	検証値 R9	基準値 R5	検証値 R9	基準値 R5	検証値 R9	基準値 R5	検証値 R9
小：81.8% 中：77.7%	小：85.0% 中：80.0%	小：(40.6%) 中：(38.0%)	小：20.0% 中：20.0%	(2,064回)	2,500回	18件	10件

基本方針（３） 最適な教育環境の整備

施策の方向性

- ① 安全・安心な学校づくりの推進
- ② 働き方改革の推進
- ③ 学校におけるマネジメント体制の強化
- ④ 地域や家庭と連携した教育環境の整備

取組方針

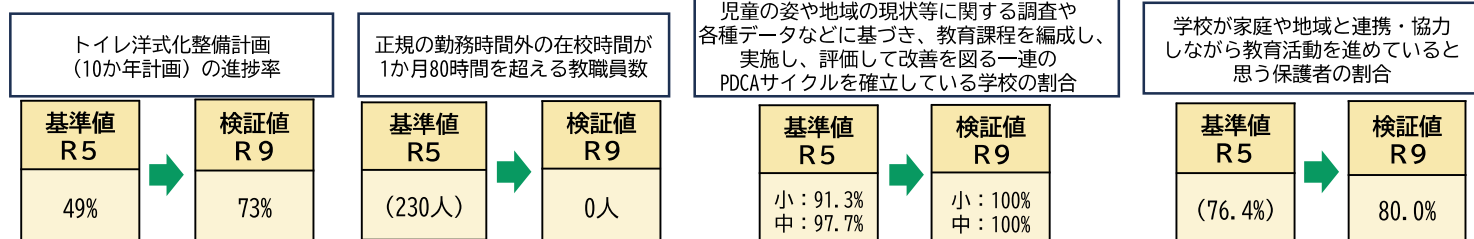
学校・家庭・地域の連携や学校におけるマネジメント体制の強化、教職員の働き方改革等進めながら、こどもが安全に安心して学ぶことのできる最適な教育環境を整備する。

主な事業概要

- ・校舎、体育館、トイレ等の計画的な老朽化対策、施設・設備の改善を図ることによる安全で良好な学習環境の整備
- ・「学校改革！教職員の時間創造プログラム」の着実な推進による、ゆとりを持ってこどもと向き合える環境づくり
- ・学校におけるマネジメント力を強化するための研修プログラムや、校務支援の充実など、効果的・効率的な学校運営の推進
- ・家庭や地域と連携した授業や体験活動、学校行事などの実施による開かれた学校づくりの推進

主な検証指標

※基準値の括弧書きは参考値



基本方針（４） こどものいのちと権利の擁護

施策の方向性

- ① こどもの最善の利益を守る環境づくり
- ② 家庭環境に左右されない学習機会の充実
- ③ ライフステージに応じた継続的な支援の充実
- ④ こどもの権利擁護に関する理解の促進

取組方針

こどもが持てる力を高めながら、将来にわたって心身ともに豊かな生活が送れるよう、それぞれの教育的ニーズに応じた場で適切な指導や支援を行うとともに、課題を抱えるこどもや家庭に迅速かつ的確に対応できるような取組を推進する。

主な事業概要

- ・学校の内外を問わず、こどもの権利侵害に関する相談を受け付け、課題の解決を図ることによるこどもの権利の擁護
- ・学習機会の充実による、社会を生き抜く力を育むための支援
- ・発達や育児に関する相談、初期療育の支援、就学に関する相談、卒業後の進学や就労の支援等、教育や福祉、労働などの関係機関との連携充実
- ・教職員、保護者やこども自身及び市民全体に対する、こどもの権利擁護に関する正しい知識の普及・啓発のため、広報誌やホームページ等のほか、民生・児童委員をはじめとする地域と連携した周知、教職員の人権研修の推進及びこども自身がこどもの権利について学ぶ授業の提案

主な検証指標

※基準値の括弧書きは参考値

こどもホットラインにおける相談件数		放課後学習教室開催校数		子育ての不安や困難を相談できる人や場所がある市民の割合		こどもの権利が守られていると感じる市民の割合	
基準値 R5	検証値 R9	基準値 R5	検証値 R9	基準値 R5	検証値 R9	基準値 R5	検証値 R9
140件 ※見込	300件	10校	18校	(85.7%)	88.0%	(43.9%)	55.0%

基本方針（５） 生涯にわたる学びの提供と学びの成果をいかす機会の創造

施策の方向性

- ① 学びと活動の循環による環境の整備
- ② 生涯学習関連施設の機能充実
- ③ 青少年の健全育成

取組方針

各ライフステージの特徴に応じた学習内容を充実させ、その成果を地域にいかすことができる社会づくりを進める。また、地域や学校をはじめとする豊かなつながりの中で家庭教育が行われるよう、親子の育ちを応援する学習機会を充実するとともに、市民と協働による家庭教育支援を強化する。

主な事業概要

- ・ 市民一人ひとりが豊かな人生を送るため、生涯学習による「学びと活動の循環」の仕組みの構築
- ・ 各図書館・図書室等の特性に応じた蔵書の構成の更なる充実
- ・ 地域住民が青少年の健全育成活動に参加できるようにするための支援

主な検証指標

※基準値の括弧書きは参考値

生涯学習が自らの向上に役立った と思う市民の割合	
基準値 R5	検証値 R9
(68.4%)	77.0%



図書館、公民館図書室等からの 貸出冊数	
基準値 R5	検証値 R9
(281万冊)	300万冊



地域における青少年健全育成活動 への参加者数	
基準値 R5	検証値 R9
(58,939人)	85,000人



基本方針（６） 市民が身近に親しめる文化芸術の振興

施策の方向性

- ① 文化芸術活動の推進
- ② 歴史的文化遺産の調査研究、保存整備と活用

取組方針

多様化する市民ニーズに対応した伝統文化の継承や後継者育成への支援、文化芸術の鑑賞機会の提供など文化に触れ合う機会の拡充を図るとともに、関係機関と連携し、歴史的文化遺産の調査研究、適切な保存・活用に取り組み、日々の暮らしの中で文化芸術に親しめるまちづくりを進める。

主な事業概要

- ・文化活動の支援や文化芸術の発信、文化芸術が持つ多様な価値の活用等を通じた文化活動の活性化や、市民が文化芸術に触れる機会の創出
- ・伝統文化の後世への伝承や次代の担い手育成の取組
- ・文化に触れる機会の創出によりその価値の認識を促すほか、文化財を活用したまちづくりや地域の魅力向上の推進

主な検証指標

※基準値の括弧書きは参考値

文化に親しんでいる市民の割合※２

基準値 R5	R9
(30.5%)	40.0%



※２「文化に親しんでいる」とは、コンサートや演劇・映画等の鑑賞、音楽・美術・お茶やお花・踊りなどの習い事、公民館講座等への参加、短歌や俳句を詠む、小説を書く、文化芸術活動の指導を行っている、また熊本城をはじめとする文化財や地域に残る文化資源、記念館・博物館・美術館・図書館を訪れる、などを指す。

学校等への出張公演の件数

基準値 R5	R9
(12件)	20件



基本方針（７） ライフステージに応じた生涯スポーツの推進

施策の方向性

- ① スポーツ機会の充実
- ② 競技力の向上
- ③ スポーツ施設の整備・機能充実

取組方針

市民のライフステージに応じたスポーツ活動の推進と環境整備を図る。

主な事業概要

- ・健康増進や体力の維持・向上など市民ニーズに応じて、日常的にスポーツに親しむ機会を拡充するための地域団体によるスポーツ活動の支援
- ・市民が一流のアスリートとふれあう機会の創出やスポーツ教室の実施などによる競技力の向上
- ・多様化するスポーツに対する市民ニーズへ対応するためのスポーツ施設の機能改善や競技備品の充実の推進

主な検証指標

※基準値の括弧書きは参考値

週1回以上（1回30分以上）スポーツ
（軽い運動を含む）をしている市民の割合

基準値 R5	R9
(56.7%)	58.0%



国体出場者数
（熊本市在住 選手・監督者数）

基準値 R5	R9
(230人)	260人



スポーツ施設利用者数

基準値 R5	R9
(260万人)	280万人

